

Tranzax株式会社

中小建設業の円滑な資金調達を実現

電子債権を活用したサービスで

紙に代わる電子版の手形決済システムが徐々に浸透してきた。事業者の資金調達の円滑化を図る目的で創設された新しいタイプの記録債権である「電子記録債権」が、07年に施行した電子記録債権法によって登場。大手金融機関や全国銀行協会の手形会社などが、それぞれにシステムを構築し、稼働させている。

媒体手形に内在する保管コスト、紛失リスクがあり、最近では手形の利用自体が減少しているという背景があった。電子記録債権は電子債権記録機関の記録簿への電子記録をそのまま発生・譲渡の条件とする。ことから、盗難や紛失のリスク減少、管理・運搬・保管のコスト減少といったメリットがある。現金化までの期間が短く、また、決済の利点もある。現金化までの期間が短く、また、決済の利点もある。

の支払いの際、パソコンやFAXなどで電子記録すること、安全・簡易・迅速に電子記録債権を発生・譲渡できる。インターネットに接続できる環境が整っていれば、導入コストもほとんどかからない。

を受注する建設業にも広がる検討を進めている。金融審議会の「決済業務等の高度化に関するワーキンググループ」が15年12月にまとめた報告には、公的機関における電子記録債権の活用が盛り込まれた。

インタビュー

金融庁から電子債権記録業の指定を受け、7月1日に開業したTranzax(東京都港区、小倉隆志社長)。建設業などの中小企業の円滑な資金調達につながるファイナンスをスタートさせた。小倉社長は、中小向け融資金利で基準となる短期プライムレート(短プラ)が09年から7年続いで1・475%を維持していることに触れ、「ゼロ金利政策の恩恵を中小企業も受けるべきだ」と強調。独自手法で中小向け金利の引き下げに貢献していきたいとした。事業の狙いと展望を聞いた。

業に対して持つ売掛債権を大社のDensaiサービスを通じて電子債権化。これを同社の設立する特別目的会社(SPC)に譲渡し、大手企業の信用力を生かした低金利(0・7〜1・2%)での現金化を実現する。

8月2日にスタートするシステム開発会社のNCS&A(東京都江東区)と取引のある中小企業向けの事業を皮切りに、「不動産会社や住宅機器メーカーなど、社以上の大手企業とも」の手法での契約締結に向けた検討を進めているという。小倉氏が「売上高1000億円以上、取引のある協力会社が700社くらいある大手企業のスケールメリットが生か

せる手法だ」と話すサブプライムファイナンスを活用した低金利での資金調達。短プラの影響で現状2・3%の金利で融資を受ける中小企業と契約する大手にとっても、「納入単価を上げられることにつながる」と生産性アップの効果が見込める。

金債権を電子化し、それを担保に融資を受けられる「POファイナンス」をスタートさせられるよう金融庁と調整中。公共工事のように前金払いがない民間工事の資金繰り対策として活用を促す。既に施工中の中小建設会社が民事再生や会社更生の手続きに入っても、電子化した債権が金融機関に移転するため、それを担保に追加融資が可能になり、「下位の借金を保護し、連鎖倒産も起こりにくくなる」という。

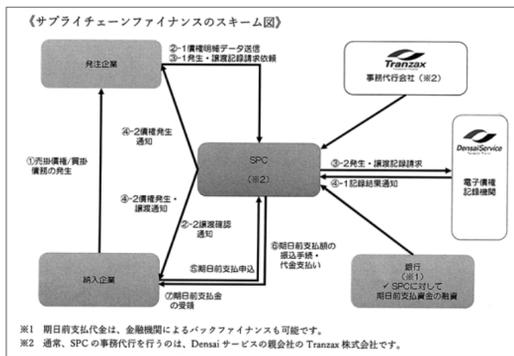
大手の信用力生かしたファイナンス展開

Tranzax株式会社



Tranzax株式会社

社長 小倉 隆志氏



【社名】 Tranzax株式会社 (旧社名: 株式会社日本電子記録債権研究所)
【所在地】 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-12の9 スズエ・アンド・スズエビル6F
【電話】 03-5510-8077 (代表)
【設立】 2009年7月7日
【資本金】 1,015,975,000円 / 資本準備金555,300,000円

【代表取締役社長】 小倉隆志
【取締役】 深澤亮一 鶴田厚志 奥島孝康 (元早稲田大学総長)

【監査役】 田端広道 (元CSK副社長) 瀧澤三郎 (元NEC専務) 高橋泰弘 (元富士銀行本店審議役) 深町美由 (元野村信託銀行取締役) 藪田広平 (弁護士)
【特別顧問】 森本敏 (拓殖大学総長、元防衛大臣) 松脇達朗 (元国土交通省政策統括官) 梅井尚志 (元日本銀行発券局長)
【会計監査】 PwC あらた有責任監査法人

グループ会社 株式会社Densaiサービス (電子債権記録機関)
【資本金】 800,050,000円 / 資本準備金300,000,000円

してアベノミクスによる金融政策の一翼を担うためにも、「年間取扱高10兆円を5年以内に達成」し、市場での存在感を示していきたいとの意向を示した。(7月29日付本紙記事から)

Advertisement for Tranzax. It features the company logo and the slogan '守りのファイナンスは攻めのチャンスへと、変えられる。' (Defensive finance becomes an offensive opportunity and changes). Below the slogan, it says 'MISSION: ファイナンスを、チャンスに。' (MISSION: Finance, into opportunity.) and 'VISION: Transaction Finance'. The background shows a network of nodes and lines.

Tranzax 株式会社 (旧社名: 株式会社日本電子記録債権研究所) 東京都港区虎ノ門1-12-9 スズエ・アンド・スズエビル6階 tel:03-5510-8077(代) 設立:平成21年7月7日